

現役最年少 前橋市議会議員

つつみ はじめ

平成30年 議員活動報告

市議会議員のつつみはじめです

日頃より、議員活動に

ご理解を頂きありがとうございます。

うございます。

議員になり二年目で、

総務常任委員会の副委員長

となり、災害対策や中小企業支援に取り組む、

本会議では、中央地区自治会連合会と要望し

た旧中央小学校の跡地活用や中川地区自治会

連合会と要望した旧日赤病院跡地への医療施設

誘致を要望してきました。また前橋駅の列車運行

本数の増便や上毛電鉄の支援策を質問するなど、

この一年間の報告をさせて頂きます。

尚、日々の活動はホームページで公開しています。

現役最年少議員として、これからの未来に責任が
持てる政治に取り組んでいきます。

本年も何卒、よろしくお願いいたします。

平成三十一年一月

堤 波志芽

はじめの
一歩

E-mail:t.hajime@almond.ocn.ne.jp

つつみはじめ

検索



WEBでチェック!

旧中央小跡地の暫定利用を要望。

千代田町・二中地区の区画整理は!?



3月 第1回定例会

市議になり2年目を迎えました。2月28日より28日間開催された、第1回定例会。今年度は総務常任委員会の副委員長に就任しました。

平成30年度 第1回定例会(3月8日)は、主に平成30年度の予算審議。一般会計は1,400億円余りで、対前年比1,2%の減。社会保障費の増大で厳しい財政状況の中ですが、30年度は本町五差路の改良や日赤跡地活用などが動きはじめます。

旧中央小の跡地利用について

跡地活用は地域住民にとっては非常に関心の高いものとなっています。校舎については平成13年に約5,000万円かけ耐震補強工事を行い、体育館についても平成25年に約9,500万円かけて改修工事を行なったばかりであり、昨年8月に地元自治会連合会より要望書を提出させて頂きましたが、まだまだ既存施設を活用していただける環境であると感じております。是非、地元要望を考慮していただくよう何卒お願いをします。

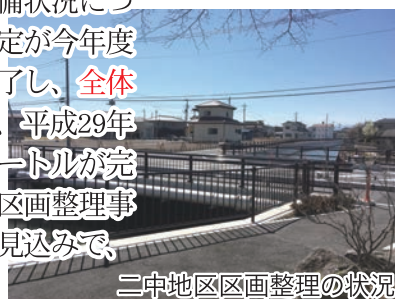
また活用が決まるまでの暫定期間は、そのまま廃校状態にしておくのではなく、地元地域で校庭等をコミュニティの場として活用させて頂きたいです。特に我々の地元は街場であり、旧中央小のような雄大な敷地は他になく、今までも地域住民がグラウンドゴルフ等で利用してきました。先日行われた桃井小の学校開放の調整会議でも新規で参加したいという団体も増えたと聞いております。そのまま放置しておくのではなくできるだけ活用頂けるようご検討をお願いします。



中央地区自治会連合会との要望

千代田町・二中地区、区画整理事業の進捗

現在、市施行の土地区画整理事業を12地区で進めているところであり、中心市街地及びその周辺の千代田町及び二中地区において施行されている土地区画整理事業における、現在の整備状況についてです。まず千代田町三丁目土地区画整理事業の現在の整備状況について、仮換地指定が今年度におきまして100%となり、建物移転は平成29年度末で地区内全25戸のうち12戸が完了し、全体事業ベースで24%の進捗です。また、二中地区(第一)土地区画整理事業の整備状況は、平成29年度末で仮換地指定率が約68%、建物移転は121戸が完了し、道路工事は延長499メートルが完成しており、全体事業ベースで21,3%の進捗です。同じく、二中地区(第三)土地区画整理事業は、建物移転は既に完了し、道路工事も広東橋が開通するなど今年度でほぼ完了する見込みで、事業終息に向かっていているところです。



二中地区区画整理の状況

第一コミセンの運用開始

4月から開始の第一コミュニティセンターの運用について、広報前橋において使用料金や団体登録、予約方法についての周知がありました。桃井地区・中央地区の方、そして南町の方々にも是非利用頂きたいところではありますが、当面の間、教育委員会が、直接、運営を行っていき聞いております。団体登録の状況については、去る2月19日から利用団体登録の受付を開始し、ダンス、茶道、子育てのサークルなど20団体ほどの登録があります。ただコミュニティセンターは中央公民館と違って、毎月の調整会議で予約の調整を行なっていくと聞きました。こうするとスポットで予約をとりやすくなる反面、毎月決まった曜日から時間など定期で行いたい団体には不確定なぶん不便さもあります。例えば減免許が出た団体には一定期間先まで予約できる優遇措置をとるなど、多くの団体に継続して利用頂けるよう、検討頂ければと思います。利用していく中で改善点がでてくれれば見直しでき、使い勝手をよりよくしていただけるようお願いします。

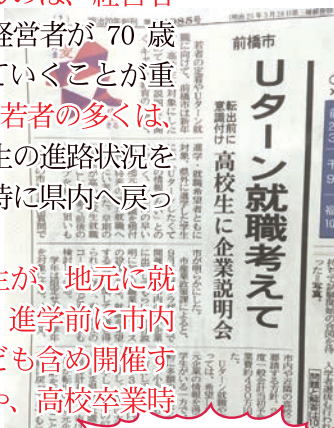


第一コミュニティセンター

雇用対策と高校生への就労支援

本市でも中小企業の人材不足は急務であります。先日の商工まえばしの中で、中小企業が今、著しく減少しているとの記載がありました。廃業の中で、約半数が黒字にもかかわらず事業を閉じるのは、経営者の高齢化と後継者難が背景にあるとあります。このままでは数年後に約30万人の中小企業経営者が70歳を超える「大企業継承時代」を迎える、本市企業でも技術やノウハウを若い世代へ継承していくことが重要であると感じております。しかしながら、高校卒業後、首都圏をはじめとする県外に進学した若者の多くは、そのまま就職してしまうケースが多いのが現状です。平成29年3月に卒業した県内の高校生の進路状況を見ても、大学等へ進学する9,100人のうち、5,900人は県外へ進学し、そのうち就職時に県内へ戻ってくるのは2,000人で、残りの4,000人はそのまま県外で就職をするという状況です。

そんな中、高校生のための企業説明会を新たに予算計上しています。県外へ進学した学生が、地元で就職したいが企業を知らない、また、情報がない、と言われていたことから、高校生を対象に、進学前に市内企業を知って頂くために、開催するものです。対象は、高校生の全学年のほか、保護者なども含め開催する予定です。地元企業の仕事内容を体験する事で、県外に進学する学生へのUターン就職や、高校卒業時に就職する学生にも地元定着を意識付けるものにして考えています。



3月9日の朝刊に取り上げられました!

雇用対策と高校生への就労支援

平成30年度から34年度までの第5期上毛線再生基本方針が決定され、支援策の中で、上毛電鉄が現在保有している車両は8編成16両ですが、製造から50年近くを経過しており、このうち、2編成4両については、新造車両による更新を盛り込んでいます。

現状と存続理由の検証の中で、近年の輸送人員の推移を見ると、横ばいかやや減少傾向であります。直近の平成28年度では154万人の方にご利用頂いており、通勤では27万人、単純計算で1日756人、通学では79万人、単純計算で1日2,186人と、利用者がいるのを感じました。とは言え、このまま補助金等の金銭的な支援を続けるだけでは変わりません。公共交通等との連携はもちろん、今後の立地適正化計画をしっかりと盛り込んで頂き、本市でも担当部署を超えたオール前橋で沿線自治体と連携して支援頂けるようお願い致します。

1~3月の主な政務活動等

- 議員と職員顔合わせ 1/4
- 消防隊 出初式 1/6
- 成人式 1/7
- 商工会議所 新春互礼会 1/7
- 初市 お焚き上げ 1/9
- 元総社南小学校 竣工式 1/19
- 育英高校サッカー部 市民栄誉賞授賞式 1/21
- 前橋駅周辺都市計画決定 住民説明会 1/22
- 市民活動支援センター 10周年事業 1/28
- 公共交通シンポジウム 2/14
- 市立前橋 卒業式 3/1
- 一中北校舎 竣工式 3/1
- 第一回定例会 総括質問 3/8
- 一中 卒業式 3/13
- 前橋工科大実験棟 内覧会 3/13
- 桃井小学校 卒業式 3/23
- 第四保育所 修了式 3/28
- 国土交通省・経済産業省勉強会 3/28-29

記載はほんの一部です。本会議開会期間や陳情対応、現場確認から打ち合わせ、祭りや廃品回収などの様々な地域行事、消防団や卓球協会、高校同窓会などの所属団体での活動等、その他での活動は記載しておりません。詳しくはホームページをご覧ください。

中心部が抱える課題にも、**全力で**

取り組んでいきます!

👉 前橋駅の列車運行本数の増便に向けて!

去る7月13日の朝刊において、「前橋駅の利用者数 復調」との記事がありました。運行本数の減便は乗車人員の減少が影響しているものと認識しておりますが、改めて、近年の乗車人員の推移を見ると、前橋駅の1日平均の乗車人員は、平成19年度の9,607人から徐々に減少し、平成23年度には9,294人となりました。しかし、その後、増加傾向に転じ、平成25年度には1万人を超えて、最新データである平成28年度の乗車人員は、10,353人と10年間で最も多くなっております。

👉 JRへ運行本数要望を!

JR前橋駅の乗車人員について、直近の平成28年度は、ここ10年間で、最も多かったとのことで、こういった嬉しい結果がでて中、JRに対して、改めて運行本数の増便を含む利便性向上策を求めていく必要があります。本市では毎年、両毛線整備促進期成同盟会を通じて、JRに要望を行っていると考えております。

同会については、沿線の自治体や商工会議所などで構成する団体であり、両毛線の利便性向上のため、JR東日本高崎支社への要望活動など各種事業に取り組んでおります。本市では、東京方面への直通列車を含めた運行本数の増便のほか、他路線との乗り継ぎ改善等の利便性向上策、さらには、駅周辺の賑わい創出へのJRの協力等を要望しております。

実際に乗車人員が増えている今だからこそ、運行本数の増便や乗り継ぎ改善等の利便性向上などしっかりと要望していけるようお願いいたします。

👉 前橋駅北口再開発事業はどうなるの?

駅北口の広場に隣接した26階建ての複合マンションが計画されておりますが、そこで本事業の中では、市有地を権利変換によって市が床を取得することとなっております。

本事業では、施設低層部に店舗や交流広場が計画されており、駅利用者の利便性や滞留性の高い民間施設が整備される予定となっております。また市が取得する床の活用につきましては、事業施行者より駅前図書館施設として提案されましたが、駅前という立地条件におけるニーズ等を考慮しながら、学生を中心とした若い世代や子育て世代など幅広い多くの人たちが利用する民間施設と連携した交流拠点として、賑わい創出に繋がる施設の検討を進めていきたいと考えております。

駅利用で多い学生に対しても使いやすい交流拠点となるよう要望させていただきます。昨今はエキータをはじめ前橋プラザ元気21、市立図書館、県立図書館など多くの市内施設で学生が自主学習をする姿を目にします。私も以前、太田駅の前にある太田市の図書館を視察してきましたが、中高生をはじめ、多くの市民が利用され交流の拠点となっていました。

具体的な活用については今後検討されていくことと思いますが、この機会に、にぎわいのある新たなランドマークとなるよう計画いただくとともに、地元地域への配慮も重ねてお願いします。



前橋駅

👉 本町二丁目の五差路が変わる

去る5月23日に国・県・市で進めている、2回目の前橋市中心地区道路計画協議会が開催され、それに伴い、先日の6月8日に本町二丁目交差点に係る意見交換会が開催されました。その席で地元自治会長とともに私も参加させていただき、先に行われた協議会の内容について当局より具体的に報告を受けたところです。

まず、本事業の進捗状況ですが、今年度の国土交通省の道路調査において、計画段階評価を進めるための「概略ルート・構造の検討」に係る調査費が計上されたとの報告がありました。また、先に開催された「第2回協議会」では、本町二丁目交差点の改良について、点的対策から立体対策までの複数の考え方が示されており、今後は計画段階評価により各事業案が検証され、対応方針が決定されるものと伺っております。

まだまだこれから始まるところであり、今後の具体的な内容に関しては国や県としっかりと連携頂くとともに、一日も早く事業化となるようよろしくお願いいたします。

6月 第2回定例会

👉 「前橋テルサ売却検討」の記事を受けて

市街地の活性において、前橋テルサは大きな役割を果たしていると感じておりますが、昨年10月、「前橋テルサ売却検討」という見出しで新聞の一面に掲載されました。ふと思い出されるのは、岡山テルサのときのような、民間へ売却後すぐに更地になってしまうというような、見えない不安です。

昨年度のサマーレビューにおいて、市有施設全体のファシリティマネジメントの中で資産の利活用と併せ、より効果的な施設運営と市費負担の削減を図るため、民間活力の導入も含めた検討を行うこととされております。確かに厳しい財政運営の中、市費負担の削減は重要な課題です。前橋テルサは公共の施設として25年間多

くの市民に愛され、利用されております。そんな中、ホールやフィットネスなど、継続的に利用している方たちも多くいると思います。

昨年度のフィットネスにつきましては、平成30年5月末現在の会員数1,102名のうち、10年以上継続してご利用いただいている会員数は380人、5年以上が239人、1年以上が347人となり、合わせて88%の会員が継続的にご利用いただいている状況となります。

改めて長く、そして多くの方に愛されていると感じます。これだけの方がいるという状況を踏まえ、検討いただくとともに、こういった利用者の中には、施設利用と併せて商店街へ買い物される方もいるかと思いますが、商店街への影響も考慮頂き、重ねて検討いただくようお願いいたします。

また、前橋テルサには市の関係だけでなく、民間等のテナント利用されている部分もありますが、雇用があり、既存の場所があります。ご理解いただけるよう、しっかりとご配慮願えればと思



前橋テルサ

👉 ヤマト市民体育館前橋の駐車場が広くなりました

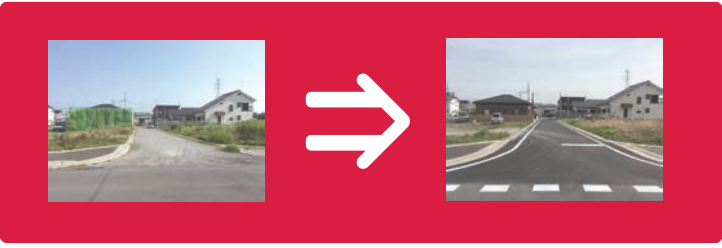
群馬クレインサンダーズのホームとして、また高校総体や中体連等、様々な大規模な大会が開かれており、観客も含めれば、かなりの来館者数になると見込まれております。実際私も以前は、サンダーズのホーム戦の応援の際、六供の清掃工場に車を止めて、歩いて体育館までいったり、日頃より卓球協会の大会で体育館を利用して頂く際は、他の競技と重なったとき、「満車で駐車ができない」とのご意見をいただくこともありました。また、体育館の近隣住民の方からは、路上駐車等でお叱りをいただくこともありました。

駐車場については、現在敷地内に約350台分用意されています。平成29年度の利用者数をみますと、約15万人であり、今年3月に工科大グラウンドの一部を借り受け、約100台分の駐車場を整備するとともに、誘導係員を配置することで、現在のところ路上駐車問題は解消されております。

4月～6月の主な政務活動等

- 桃井地区体育協会 総会 4/4
- 第四保育所 入所式 4/5
- 市立前橋 入学式 4/10
- 新日赤病院 内覧会 4/26
- 市立前橋 開校記念式典 5/2
- 広瀬川緑の少年団 総会 5/7
- 桃井小学校 竣工式 5/9
- 尾道市 行政視察 5/9-10
- 桃井小学校 運動会 5/20
- 樺原市・岐阜市 行政視察 5/23-25
- 桃井小学校 新校舎落成記念事業 5/26
- つつみはじめ 市政報告会 5/28
- 前橋市消防団ポンプ操法大会 6/3
- 本町五差路改良協議会 6/8
- 前橋市茶道会 大茶会 6/10
- 第二回定例会 総括質問 6/21
- 渋川市広域消防本部 行政視察 6/26

陳情への対応①
未舗装の道路からホコリがたつこと
から舗装を要望(元総社町内)



陳情への対応②
車椅子やベビーカーがスムーズ
に入れるように要望(敷島公園)



陳情への対応⑦
家と道路の境界部が劣化による陥
没が発見されたことから、すぐに補
修を行いました(千代田町内)



陳情への対応⑤
曲がった標識をすぐに復旧(紅雲町内)



陳情への対応⑥
前橋ラグビースク
ールから要望頂
いた、河川敷ラグ
ビー場の犬等の
注意看板。散歩
で糞をそのまま
にしたり、せっか
くの芝を掘り返すのが発見され、
子供たちが練習の際に衛生的に
よくないことから設置。



活動報告会

定期的に行っている市政報告会。前橋市ではどんな事業をはじめたのか、予算決算の状況や、つつみはじめ議員活動の報告をプロジェクトを使ってわかりやすく伝えていきます。

5月28日

7月1日

上半期

陳情への対応③

畳組合の方々や延命工事中の六供の清掃工場へ。平成31年度に亀泉と大胡の清掃工場の閉鎖が決まっており、そのゴミも含め可燃ゴミはここ六供に集約される。集約されることで稼働コストの削減に繋がるが、今まで亀泉や大胡で処分していた同組合の方々などは方法が変わるので聞いてきました。ちなみにリニューアルする六供も耐用年数は15年程とのこと。その後は延命は不可で新工場を建設するしかないようです。

1月16日

活動報告会

定期的に行っている市政報告会。11月には、企業者向けの勉強会も実施しました。

12月12日

11月21日

下半期

年度末も近づき、来年度への予算要求へ!

- 旧中央小学校跡地の防犯対策のため、草木の手入れを図りたい。
- 中川地区内の標識設置や交差点等の交通安全対策を早期に図りたい。
- 日吉体育館の暗幕カーテンの設置を図りたい。
- 粕川西部グラウンドの少年用のサッカーゴール老朽化に伴う、新設を図りたい。
- 利根川敷島緑地ラグビー場の散水水道栓の布設と拡充を図りたい。
- 茶道や日本舞踊といった文化の継承を学校活動へ積極的に取り入れていくよう 図りたい。
- 前橋プラザ元気21から中心商店街への回遊策の向上を図りたい。
- 桃井小学校地区における地域包括支援システムの整備を図りたい。

陳情への対応④
破損したガードレールを早急に対応するよう市へ要望(南町内)



日本代表監督が前橋へ

卓球女子の日本代表監督である星野(旧姓馬場)監督が前橋の子供たちに卓球の指導へ来橋。今後も児童のスポーツ強化に努めていきます。

11月12日

後援会研修旅行①
森のビール園研修
鬼怒川ライン下りツアー

11月13日

陳情への対応⑨
破損したポールコーンの復旧。(紅雲町)



ビクター跡地(大渡町)

広大なビクターJVC跡地については、既に建設してあるニチガスのガスステーションをはじめ、福山通運の配送センターや群電など4社が入る予定。今後も企業誘致を進めていきます。

高校生への主権者教育

高校生へ市議会議員が普段何をしているのか、議会とはどんな役割を果たしているのか伝える活動もしている。

4月3日

スポーツ環境整備

日吉体育館へ新しい卓球台を2台入れ、今年は大渡体育館へ新しい卓球台を2台入れました。今後もスポーツ環境の整備に努めていきます。

後援会研修旅行②
醬遊王国研修
日本酒宴会ツアー

11月22日

消防団員として!
2年に1度の前橋市消防団ポンプ操法大会へ選手として出場!

6月3日

陳情への対応⑧
草木が生い茂り、蚊がひどかったことから剪定を市へ要望(大手町内)

消防団員として、防災士として、総務常任委員会の副委員長として、

防災対策を要望!

👉 旧日赤病院の跡地、いつ?どうなる?

去る、12月4日に、中川地区自治会連合会の会長はじめ、地区の各自治会長とともに跡地活用に関する要望書を市長へ提出させていただきました。私も同席させていただきました。新病院移転後の跡地活用について要望させていただきました。あれから半年余りが過ぎ、先日、朝倉町の新病院へ移転が無事に完了し、地元地域では大病院の引越しの話題から、跡地における新事業に関心が移っております。

地元地域では「旧病院はいつ解体されるのか」「次の建物はいつ建つのか」「具体的になにが建つのか」そんな不安や期待が交錯する中で、現在は、医療施設誘致のほか、事業者提案で賃貸住宅となっている居住機能について、戸数の拡充、さらには生涯定住を見据えた分譲タイプの導入可能性等を優先交渉権者と検討しており、秋ごろに予定される解体工事と、平成31、32年度で行う詳細設計及び施設整備工事を経て、平成33年度の開業に向けて進めています。

地元で要望しております、医療施設の誘致においては是非ともお願いするとともに、高齢化率の高い、中川地区において居住機能の拡充を是非ともお願い致します。また地元への説明会をしっかりと行い、今まで以上の地域環境となるようよろしくお願いいたします。



👉 希望する幼稚園・保育園に入園するために!

平成30年4月1日時点の本市の入所保留児童は156名のうち、年齢別では0歳児30名、1歳児103名、2歳児20名と、3歳未満児で153名とほとんどを占めている状況です。また、地区別の状況では、東や元総社等の利根西地区、本庁管内、大胡地区などで入所保留が多くなっている状況です。平成30年度の入所の一次募集及び二次募集で入所保留になりました保護者約250名に対しまして、利用可能な保育所等の情報の提供を行うとともに、保育コンサルジュによる相談等を実施するなど、保護者の意向を丁寧に確認しながら入所のマッチングを進めましたが、最終的には9名の児童が待機という結果となりました。

当面の対応についてですが、主に入所の情報提供、施設整備による入所定員の増、保育士の確保の3点です。1点目の入所の情報提供についてですが、保護者の方に利用可能な保育所等の情報をタイムリーに提供できるように、今年5月から翌月の保育所等の空き状況(入所可能施設)を市のホームページに掲載し、入所できる可能性がより高い施設を見つけられるように改善いたしました。2点目は、平成31年度の入所にあたって、平成30年度の施設整備に伴う定員枠の増加によりまして、平成31年4月には3歳未満児の定員枠を85人拡大する予定となっており、特に入所保留の多かった東地区、本庁管内、大胡地区で重点的に整備をいたします。3点目は、潜在保育士の掘り起こしとしての復職セミナーの実施や保育士の子どもの保育所利用に対する優先利用など、保育士の確保に向けた支援を行ってまいります。

👉 中小企業への補助金対策

今年4月に地元新聞社が行った県内企業アンケート調査では、9割の企業が人手不足と回答しており、中小企業における人材確保が困難な状況が浮き彫りとなっております。私自身も商工会議所の青年部の会員として強く感じているところではありますが、こうした中で、本市においても今年度から「IT化推進補助金」を新設しました。

この補助金は、6月1日から申請の受付を開始したところ、およそ1週間で当該補助金の予算額に達しました。これまでの申請内容を申し上げますと、手書き帳簿の管理からパソコン及びソフトウェアの導入で電子化する事業や、タブレット端末を活用したPOSの導入など、60件の申請があり、補助金総額は1,000万円ですが、投資総額にすると3,500万円あまりの設備導入を見込む内容となっております。

世の中では、IOTやAI、またビックデータやセキュリティ対策など技術革新が進んでおりますが、地方の中小零細企業ではなかなか今すぐにその段階へおいつく知識や設備がありません。こういった補助の後押しの中で、近づいていけるきっかけになればと感じます。また、わずか1週間で予算に達してしまったとのことで、まだまだ検討されていた方もいらっしゃったかと思っておりますことから、来年度も事業の継続をご検討頂けるようお願いします。

思い起こせば今年には災害の多い年です。6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、8月の台風21号、そして9月の北海道いぶり東部地震、またこの夏の災害的な猛暑もそのひとつです。防災士として、防災減災に繋げていきます。

9月 第3回定例会

👉 一中地区における防災備蓄

地元地域である第一中学校の周辺地域でも、高齢者や被災された場所柄、指定避難所ではなく、地域の公民館等に避難する方もいらっしゃると思います。しかし、地元自治会が公民館等で備えている備蓄だけでは十分でない可能性も考えられます。

食糧や毛布等の備蓄に関しては、市では指定避難所に防災倉庫を整備し備蓄しています。食糧や水については、一箇所当たり一律に700人の避難者を想定し、1日分に相当する量を備蓄しているほか、毛布等の生活用品についても相当数をストックしています。これらの備蓄品は、基本的には市の指定避難所で使用することを前提に備蓄しているものですが、地域の避難所で備蓄品に不足が生じているような場合には、これらを融通して補うほか、外部から寄せられた支援物資を配分することになっています。このように、指定避難所は、物資供給の拠点としての機能を有するほか、災害対策本部から伝達された情報の発信、また地域情報収集の拠点としての役割も担うことになっています。

高齢者はじめ、避難行動要支援者の方も自宅はもちろん、近隣の公民館や公園などに避難している方も多数いるので、できるだけ多くの方に支援が届くようなシステムとなるようお願いします。

👉 二次避難所開設までの流れ

総合防災マップでも一次避難所と二次避難所とで分けて掲載しておりますが、それぞれの役割は理解しつつも、市民の方からは「災害発生時に二次避難所に避難してはいけないのか」「夜間等、二次避難所は解錠空されているのか」「一次避難所より二次避難所のほうが近いのだが」という声を今も聞きます。

地元地域では、桃井小学校をはじめ、第一中学校、城南小学校が二次避難所の指定を受けておりますが、二次避難所の開設までの流れは、避難所ごとに予め2名ずつ避難所参集職員を指名しており、避難所の鍵を保有するようにしています。地震であれば震度5強以上を観測した場合に、また水害の場合は避難情報を発令する時点で、避難所参集職員が担当する避難所に向かい、避難所を開設する体制をとっています。

つまり一次避難所においては、職員がくるわけではなく、自分たちで扉を開け、一時的に留まる場であり、当然に体育館や校舎へ入れるわけではありません。二次避難所においても職員の方がくるまでは同様の対応となることから、避難所開設までタイムリーに動いて頂くようお願いするとともに、発災時が夜間や悪天候時のことも考えられることから、避難されてきた方が安心して過ごせるようお願いいたします。

7月～9月の主な政務活動等

- つみははじめ 拡大市政報告会 7/1
- 長岡市・富山市 行政視察 7/2-4
- 自民党政経セミナー 7/6
- 七夕まつり 7/7
- 札幌市・小樽市 行政視察 7/24-26
- 利根川治水同盟大会 8/3
- 戦没者追悼式 8/15
- わくわく子ども祭り 8/18
- 群馬県市議会議員研修会 8/23
- 土地家屋調査士会 懇談会 8/25
- 市立前橋 定期演奏会 8/27
- 第三回定例会 総務常任委員会 9/14
- 共愛学園創立130周年記念式典 9/22
- 桃井地区グランドゴルフ大会 9/23
- 酒井雅楽頭教養講座 9/24
- 前橋祭り全体会議 9/26
- 第四保育所 運動会 9/29

旧中央小、旧日赤病院、中心市街地...



12月第4回定例会

今期最後の定例会は11月28日から12月14日までの17日間開催されました。来年度へ向けての要望も含め、地元地域の課題を中心に質問をしました。

旧中央小学校跡地の防犯対策!

空き施設になったこともあり、日が暮れると、以前と比べ人の出入りがなかったり、建物も真っ暗であることから、周辺の方からは防犯面での不安の声もあります。

そこで校舎等における火災や盗難、その他の事故を未然に防ぎ、施設の安全性を確保するため、警備会社に警報装置による機械警備を委託しております。また、校舎や体育館の外回り、敷地やその周辺の見回りや除草などについては、シルバー人材センターに委託しております。通常は週1回のペースで、10月から12月下旬までは週3回のペースで実施しており、この際に施設に異常を発見した場合は、直ちに教育施設課に報告するなど、安全管理を行っています。

校舎や校庭は広く、地域住民の方だけでは、生い茂った雑草や高木まで手入れが行き届きません。今後も維持管理を徹底いただき防犯対策に努めていただくようよろしくお願いいたします。

旧中央小学校に投票所を設置!

来年には統一地方選挙を控え、本市でも複数の選挙が予定されております。投票率は年々低下し、また中心部では急速な高齢化も進む中で、少しでも近場に投票所があることは大切です。今後の利活用が決定するまでは投票所として利用できるようよろしくお願いいたします。



旧日赤病院は建物解体いつ解体するのか!

建物の解体予定については、6月の第2回定例会の際にも質問をさせていただきましたが、その際、解体については秋頃を予定していると答弁いただきました。あれから12月を迎えた今、改めて、建物解体の予定について、前橋赤十字病院が施工することで調整しており、病院側からは、本年度内に解体工事の開始する予定です。

今後、解体、そして施設の建設等進んでいくことを期待しておりますが、周辺住民への理解は重要になってくると感じます。地元地域にも丁寧に、また速やかに説明会を開催いただきますよう改めて要望させていただきます。

地元の課題をひとつひとつ解決!

中心市街地の既存店舗への支援について!

ここ数カ月で中心市街地には多くの新規店舗がオープンしたように感じております。少しずつ、昔のような賑わいが戻りつつある中で、これまで店舗等の事業を実施してきた既存店舗が、さらに元気に事業を続けていくことも重要であると感じます。これから再開発事業が検討されていく中で、中心市街地の既存店舗を取り巻く環境は大きく変化していくことが想像されます。この変化の中で、既存店舗が取り残されないよう、協力や支援が大切であると考えます。



市立前橋高校の募集定員の見直しは!

少子化による中学校卒業見込者の減少により、県立前橋高校と前橋女子高校では、平成30年度の入学者から募集定員を削減し、前橋商業高校においても平成31年度の入学者から削減すると聞きました。こういった流れの中で、市立前橋高校においても今後さらに少子化が進めば、それとともに入学希望者が減少していくことは想定されます。今まで以上に、高校も選ばれる時代になっていく中で、県内でもいろいろな特色を持った高校が増えてきており、万が一募集定員の見直しを検討する段階になったときは、早い段階から時間をかけて、今後も特色ある学校づくりに努めて頂くようお願いいたします。



重要給水施設管路耐震化事業について

重要給水施設管路耐震化事業は、災害時に重要な拠点となる病院や防災拠点など、給水優先度が特に高い施設へ給水する管路について、優先的に耐震化の促進に務めることとしております。

そこで、本市におきましても災害発生時に情報収集や陣頭指揮など災害対応の中心的な役割を担う災害対策本部である、県庁、市役所、消防局、水道局及び各支所など8つの行政機関、また中心的な防災物流拠点であるヤマダグリーンドーム前橋、そして災害発生時に地域の初期救急の中心となる災害拠点病院である前橋赤十字病院、群馬大学医学部附属病院、済生会前橋病院、群馬中央病院の4つの医療機関など合計13施設を対象とし、本事業により、重要施設の災害時における断水リスクが大幅に減少することから、危機管理対策という点で非常に効果が高い事業であると考えております。

馬場川をはじめとした水路の活用を!

現在、広瀬川を中心に川の流れを利用したイベントや河畔整備、それに伴う景観形成条例の制定など、広瀬川はソフトとハード両方の充実した取組みが始まっており、活性化の一躍を担うことと期待しておりますが、馬場川等、他にも水路はあり、公共空間やその歴史をまちづくりに活用すべきであると考えます。

かつては、馬場川に利根川が流れており、現在も中央通りの坂下には、船着き場だった生き証人のような「船つなぎ石」があります。また、この辺りは「こんやまち」と呼ばれ、染物屋や染物の職人が住んでいたことからその名が付いたようです。こういった貴重な歴史遺産も本市の魅力であり、歴史的にも景観面にも、活用頂くよう要望させていただきます。



10月～12月の政務活動等

- 前橋第一中学校 体育大会 10/2
- 前橋まつり 10/5・6
- 北見市・網走市 行政視察 10/10-12
- 京丹後市・横浜市 行政視察 10/17-19
- 総務常任委員会 10/22
- アーバンデザインワークショップ 10/26
- 桃井地区グランドゴルフ大会 10/28
- 東阿部流 煎茶会 10/28
- 東京研修会 10/31
- タウンミーティング 10/31
- 水俣市・吹田市 行政視察 11/6-8
- 前橋市農業まつり 11/10
- 総務常任委員会 11/20
- マイドリームアワードin前橋 11/23
- 群馬イノベーションアワード 12/1
- 自動運転勉強会 12/3
- 農政懇話会 12/10
- 情報通信講演会 12/20

記載はほんの一部です。本会議開会期間や陳情対応、現場確認から打ち合わせ、祭りや廃品回収などの様々な地域行事、消防団や卓球協会、高校同窓会などの所属団体での活動等、その他の活動は記載しておりません。詳しくはホームページをご覧ください。